



市内初の施設一体型小中一貫教育

千代田義務教育学校

新たな学び舎として

令和4年4月開校



千代田中学校・志筑小学校・新治小学校・七会小学校・上佐谷小学校の5校を統合し、令和4年4月から市内初の施設一体型「千代田義務教育学校」として、現在の千代田中学校の場所に開校します。

小中一貫教育となることで、9年間を見通した「きめ細やかな指導」と「学びの連続性」を実現できるため、児童や生徒のより良い発達を目指すことができます。

義務教育学校とは

現在の「小学1～6年生（前期課程）」と「中学1～3年生（後期課程）」にかけての義務教育を一貫して行う学校（1～9年生）のことです。

1～6年生：前期課程 7～9年生：後期課程

交流活動による教育的効果

1年生から9年生までの児童や生徒が、学校生活や行事を通して交流することで、「上級生としての意識」や「上級生から下級生に対する思いやりの心の醸成」、「下級生の上級生に対する憧れの気持ちの醸成」など、精神的な発達や社会性の育成などの効果が期待されます。

5年生からの部活動体験

部活動は中学生以上が対象ですが、施設一体型の利点を活かし、5年生から希望に応じて参加を可能とすることで、体力や技術の早期の向上が期待されます。

小規模特認校として開校

自然豊かな環境に恵まれた小規模校を中心に、学区外からでも特色ある教育を展開している学校への入学を許可する小規模特認校制度を導入します。

千代田中学校区だけでなく、霞ヶ浦中学校区、下稻吉中学校区からも入学・転学が可能となります。

外国語（英語）教育の充実

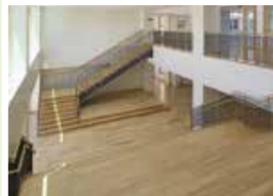
全学年（1～9年生）の英語力向上を目指し、1年生から外国語活動を実施します。小学校で配置のできなかった英語専任の先生やALT（外国語指導助手）の配置が可能となるため、低学年からの英語能力向上が期待されます。さらに、四万騎ホールをアクティブラーニングスタジオにも活用し、児童や生徒が多様な形態の学習活動を行っていきます。



校内の様子



昇降口
全9学年を1カ所に集約



大階段
異学年の立体的な交流場所。発表などさまざまな場面で活用



オープンスペース
普通教室側に設置し、学年単位の集会などで活用



普通教室
それぞれ前期課程・後期課程のまとまりをつくる



図書室
校舎2階の中央に配置。PC室と連携して活用



PC室
図書室と隣接し、電子メディアと連携して活用



四万騎ホール
校舎全体の中心に位置し、全学年の多目的交流スペースとして活用



児童用トイレ
大便器は、男女ともすべて洋式化。また小便器は非接触洗浄を採用

Across generations ～世代を超えて～



千代田中学校

多くの生徒がさまざまな思い出を刻んだ千代田中学校は、令和4年3月31日をもって、65年の歴史に幕を下ろします。



学校のあゆみ

- 昭和32年 千代田村立志筑中学校・新治中学校・七会中学校を合併し、千代田村立千代田中学校として開校。校訓、校章、帽章制定
- 昭和34年 校歌制定
- 昭和56年 千代田中学校より分離し、下稻吉中学校開校
- 昭和58年 鉄筋3階新校舎竣工
- 平成4年 千代田町立千代田中学校に改称
- 平成5年 屋内運動場竣工
- 平成17年 かすみがうら市立千代田中学校に改称
- 平成18年 創立50周年記念式典挙行

学校紹介

千代田中学校は、昭和32年から65年間、校訓の「自主・協同・勤勉」のもと、生徒一人一人の良さを伸ばし、学校教育目標である「自ら学び、こころ豊かにたくましく生きる生徒の育成」に努めてきました。学習面・文化面・運動面でもそれぞれの目標に向かって粘り強く取り組み、成果を上げています。国際的な舞台上で活躍されている先輩方もたくさんいます。令和4年3月12日に閉校式典が行われ、65年の歴史に幕を下ろします。

～生徒たちの思い出～



体育祭



修学旅行



千秋祭



宿泊キャリア学習



スキー宿泊学習



オリンピック代表元木選手応援



新校舎工事現場見学



航空写真撮影

閉校のあいさつ 岡野 浩則 校長

昭和31年に、四万騎の地に中学校を設置することとなり、昭和32年4月8日に、生徒数870人、20学級、31人の教職員で千代田中学校が発足しました。その後、数多くの素晴らしい教育活動を実践し、部活動でも優秀な成績を残しました。昭和56年の下稻吉中学校との分離を経て、65年の長い間、9,683人の卒業生が学び集立っていきました。

これまでの間、保護者の方々や地域の皆さまには、生徒たちの健やかな成長のため、本校へたくさんのご援助と数え切れないほどの親身あるご協力をいただきました。ありがとうございました。

148年の歴史 輝く未来へ



しづく 志筑小学校

多くの児童がさまざまな思い出を刻んだ志筑小学校は、令和4年3月31日をもって、148年の歴史に幕を下ろします。



学校紹介

志筑小学校は、明治7年に中志筑業精学舎・上志筑学舎の両校が開かれたことに始まる長い歴史を持つ伝統校です。「笹りんどう」の校章は、江戸時代の旗本である本堂家の陣屋が置かれた場所に、旧志筑小学校の校舎が開校したことに由来します。保護者の方々や地域の皆さまの温かいご支援をいただきながら、校訓の「明るく 根強く 正しく」の精神を引き継ぎ、多くの「志筑っ子」を教え、育ててきました。

学校のあゆみ

- 明治 7年 中志筑業精学舎・上志筑学舎が開かれる
- 明治 9年 志筑小学校（公立）となる
- 明治 26年 中志筑に校舎を新築し10月26日に開校
- 昭和 29年 千代田村立志筑小学校に改称
- 昭和 43年 旧鉄筋校舎落成
- 昭和 49年 創立100周年記念式典挙行
- 昭和 59年 少年消防クラブが消防庁長官賞を受賞
- 平成 4年 千代田町立志筑小学校に改称
- 平成 23年 8月に新校舎へ移転し、9月より使用開始
- 令和 3年 茨城県体力づくり優秀賞

～児童たちの思い出～



入学式



外国語授業



生活科授業



消防署見学



オンライン交流会



高学年遠足



運動会



書き初め会

閉校のあいさつ

いもと じゅんいち 井元 潤一 校長

明治7年に業精学舎が開かれて以来、多くの児童たちを教え、育ててきました。一時は450人近く在籍していた児童たちも、今年度は81人となり、児童数は減少しましたが、校訓の「明るく 根強く 正しく」の精神を引き継ぎ、誠実で優しく強い心を持ち続けています。発展に尽力してくださった校長先生方や教職員、PTA会長、区長、学校運営協力員、保護者の方々、地域の皆さまに心からお礼申し上げます。閉校は寂しいですが、148年間「志筑っ子」を育て続けた功績は永遠に語り継がれていきます。みんなに愛された志筑小学校、これまでありがとう。お疲れ様でした。

忘れない146年の新治の心



にいはり 新治小学校

多くの児童がさまざまな思い出を刻んだ新治小学校は、令和4年3月31日をもって、146年の歴史に幕を下ろします。



学校のあゆみ

- 明治 8年 土田学校（観音寺本堂）・野寺学校創立（福寿院）
- 明治 18年 中等西野寺小学校統合
- 昭和 22年 新治村立新治小学校に改称
- 昭和 29年 千代田村立新治小学校に改称
- 昭和 47年 プール竣工
- 昭和 50年 新治小100周年記念事業
- 昭和 62年 体育館竣工
- 平成 4年 千代田町立新治小学校に改称
- 平成 17年 かすみがうら市立新治小学校に改称
- 令和 4年 閉校記念集会（オリンピック代表元木選手を迎えて）

学校紹介

新治小学校は、明治8年に土田学校と野寺学校の両校の誕生が起点となり開校しました。国道6号沿いに立地し、自然豊かで「にいはりの森」という広大な森林があります。何年経っても変わらぬ地域の皆さまや卒業生を始めとする先輩方のご理解と温かなご支援をいただき、毎年、健やかで明るくたくましい「にいはり」の児童たちを育ててきました。

～児童たちの思い出～



小中合同あいさつ運動



さつまいも掘り収穫体験活動



秋季運動会



間伐体験活動



閉校カレンダー



新治小ありがとうボード



閉校記念集会（オンライン）



閉校式

閉校のあいさつ

ふくしま まこと 福島 真 校長

新治小学校は、明治8年に土田学校と野寺学校の創立に始まり、明治、大正、昭和、平成、令和と各時代を経て、令和4年3月31日をもって146年の歴史に幕を下ろします。最後の卒業生は17人ですが、これまでの146年間で、3,378人が新治小学校を巣立っています。新治小学校が歩んだ歴史は、保護者の方々や地域の皆さまによって支えられてきた道のりでもありました。これまで、多くの方々へ学校行事や校外学習などさまざまな場面でご支援をいただき、児童たちも勉強や運動に精一杯取り組むことができました。心より感謝申し上げます。

未来に思いを託して 141 年間ありがとう

ななえ 七会小学校

多くの児童がさまざまな思い出を刻んだ七会小学校は、令和 4 年 3 月 31 日をもって、141 年の歴史に幕を下ろします。



学校紹介

七会小学校は、明治 13 年に上稲吉小学校として福性寺内に公設され、明治 35 年に現在地に移転しました。西に筑波山を仰ぎ、すぐ下には天の川が流れる風光明媚な地に建っています。校章にある七つの星は、七会村をつくった当時の、山本、雪入、上佐谷、下佐谷、中佐谷、上稲吉、下稲吉を表しています。令和 4 年 3 月 31 日に 141 年の歴史に幕を下ろし、新しく千代田義務教育学校へと受け継がれます。

学校のあゆみ

- 明治 13 年 上稲吉福性寺内に上稲吉小学校公設
- 昭和 22 年 七会村立七会小学校に改称
- 昭和 29 年 千代田村立七会小学校に改称
- 昭和 52 年 校歌制定
- 昭和 54 年 鉄筋校舎第三期竣工
- 昭和 55 年 創立 100 周年記念式典挙行
- 平成 3 年 体育館竣工
- 平成 4 年 千代田町立七会小学校に改称
- 平成 17 年 かすみがうら市立七会小学校に改称
- 平成 19 年 文部科学省 学力向上拠点形成事業発表会（国語）

～児童たちの思い出～



開校記念のぼり



縦割り班ごとへのぼり作成



開校記念横断幕



七会小学校最後の運動会



1・2年生校外学習



3・4年生校外学習



5・6年生校外学習



開校記念の集合写真

閉校のあいさつ

くぼた かつよし 久保田 勝義 校長

心癒やされる草木の緑や鳥の鳴き声の中、校舎に響く児童の元気なざわめき、澄んだ歌声、輝く瞳、はじける笑顔など、たくさんの「美」にあふれる七会小学校は、多くの皆さまに愛され大切にされてきました。長い歴史に幕を下ろす七会小学校に、心から「ありがとう」の言葉を贈ります。閉校してしまうことは寂しい限りですが、悲しいこととはとらえず、未来に思いを託して、伸びやかに成長していく児童をこれからも応援していきたいと思ひます。これまで七会小学校を見守り、ご支援をたまわりました多くの皆さまに心より厚くお礼申し上げます。

友情 絆 いつまでも

かみさや 上佐谷小学校

多くの児童がさまざまな思い出を刻んだ上佐谷小学校は、令和 4 年 3 月 31 日をもって、147 年の歴史に幕を下ろします。



学校のあゆみ

- 明治 7 年 上佐谷学舎設立
- 昭和 22 年 七会村立上佐谷小学校に改称
- 昭和 29 年 千代田村立上佐谷小学校に改称
- 昭和 44 年 校章制定、校旗樹立
- 昭和 54 年 校歌制定、トランペット鼓隊誕生
- 昭和 57 年 現校舎・体育館竣工式
- 平成 4 年 千代田町立上佐谷小学校に改称
- 平成 17 年 かすみがうら市立上佐谷小学校に改称
- 平成 22 年 花と緑の環境美化コンクール県教育長賞
- 平成 29 年 いばらき理科教育振興事業「理科教育優秀校」

学校紹介

上佐谷小学校は明治 7 年に上佐谷学舎として開校しました。それ以前にも瀧福寺に寺子屋があり、古くから教育熱心な土地柄でした。昔から運動会には地域の皆さまが集まって盛大なお祝いをしてくださったり、さまざまな体験学習で協力して下さるなど、地域全体で学校を見守り、児童を育てていただきました。現在の児童は 23 人ですが、地域の愛情に育まれ、心優しく、一つ一つのできごとに感動でき、笑顔が素敵な児童たちです。

～児童たちの思い出～



ひたち海浜公園へ全校遠足



上佐谷小のルーツ瀧福寺を探索



昔の小学生にインタビュー



和太鼓練習



ふれあい集会で全員集合



開校記念オゴロゴロシボックス作り



雪入川の生物調査



藪玉でコサージュ作り

閉校のあいさつ

ふじた まさひさ 藤田 雅久 校長

明治 7 年に「上佐谷学舎」として開校して以来、147 年の歴史を積み重ねてきました。本校学区は、自然や産業などの素晴らしい教育資源に恵まれ、野鳥観察や雪入川の生物調査・源流調査の他、さまざまな校外学習を行うことができました。また、和太鼓演奏や稲作・養蚕体験、帆引き船や菊作り、読み聞かせの読書活動など、特色ある教育活動も数多く続けてまいりました。それらはすべて、お力添えをくださった多くの皆さまのおかげです。PTA や学校後援会をはじめ、長年、本校を支えてくださいました地域の皆さまに、心より感謝申し上げます。